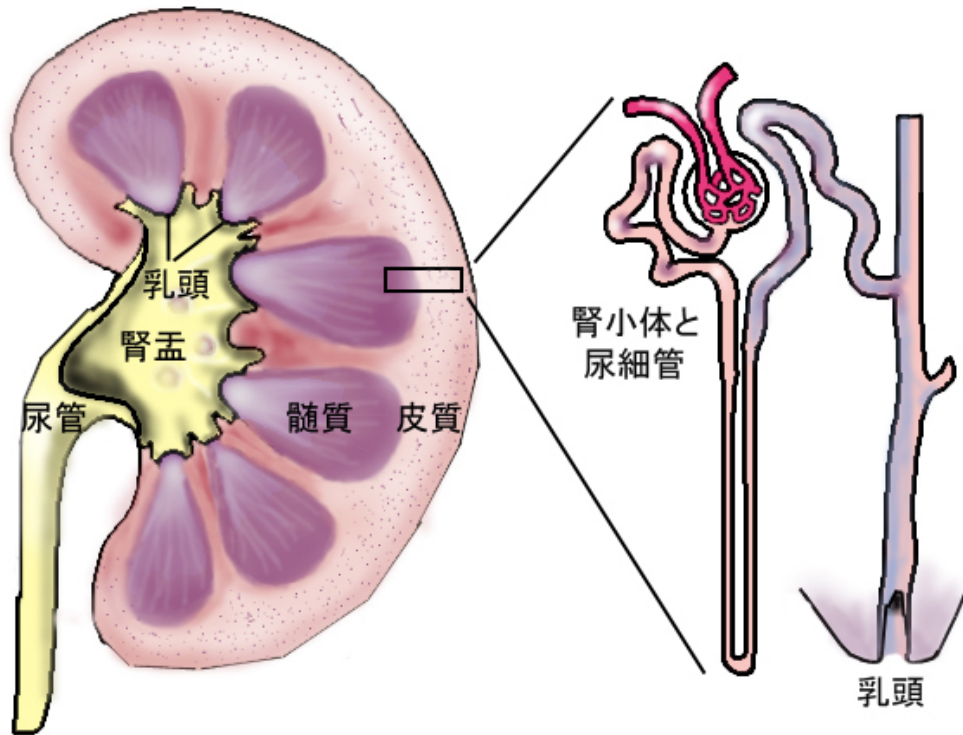
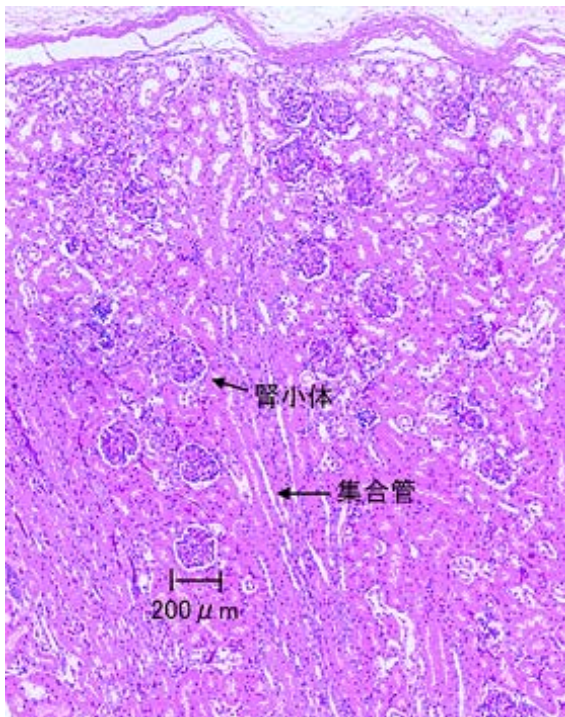


## 腎臓の構造と腎小体



腎臓は片側で約 130gm の重さがあり、そら豆型の形態をしています。腎臓の内部構造は最外側の皮質と深層部の髓質、さらに尿を集める腎盂からなっています。皮質は腎小体（ボーマン嚢と糸球体からなる）と尿細管からなります。髓質は集合管からなり、腎乳頭から腎盂に尿を開放します。



血液のろ過機能を持つ腎小体は皮質に片側で約 100 万個あるといわれます。

左写真は皮質領域の腎小体と周辺の尿細管、髓質に伸びる集合管です。腎小体は約 200 ミクロンの大きさで、肉眼でも確認することが可能です。

腎小体の構造はボーマン嚢に包まれた糸球体血管網からなり、大きな分子のタンパク以外などの血漿成分がろ過される場所です。腎小体と尿細管を腎単位（ネフロン）と呼びます。